

# 農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年11月8日公表

## 農業経営統計調査

### 平成18年 畜産物生産費（九州）

〔牛乳・子牛・去勢若齢肥育牛・乳用おす育成牛・乳用おす肥育牛  
交雑種育成牛・交雑種肥育牛・肥育豚〕

#### [調査結果の概要]

#### 1 牛乳生産費

平成18年の搾乳牛通年換算1頭当たりの資本利子・地代全額算入生産費(以下「全算入生産費」という。)は、71万17円となっています。

また、生乳100kg当たり(乳脂肪分3.5%換算。)全算入生産費は、7,977円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると飼料費が42.3%と最も多く、次いで労働費、乳牛償却費、農機具費の順となっています。

なお、1戸当たり月平均搾乳牛飼養頭数は、35.9頭となっています。

図1 主要費目の構成割合(搾乳牛1頭当たり)

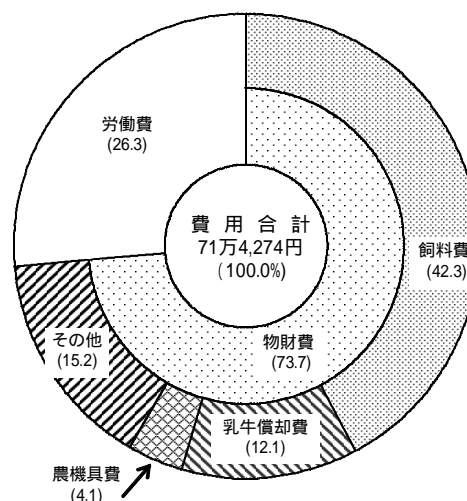


表1 牛乳生産費

単位：円

区 分		搾乳牛通年換算 1頭当たり	生乳100kg当たり (乳脂肪分3.5%換算乳量)
生 産 費	物 材 費	526 761	5 918
	労 働 費	187 513	2 106
	費 用 合 計	714 274	8 024
	生産費(副産物価額差引)	671 511	7 544
	支払利子・地代算入生産費	683 579	7 680
	全算入生産費	710 017	7 977
1戸当たり月平均搾乳牛飼養頭数(頭)		35.9	-

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用頂けます。

【[http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht\\_all.htm](http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.htm)】

本統計における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】24頁に掲載しています。

## 2 子牛生産費

平成18年の子牛1頭当たり全算入生産費は、54万8,971円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると、労働費が41.7%と最も多く、次いで飼料費、繁殖めす牛償却費、種付料の順となっています。

なお、1戸当たり月平均繁殖めす牛飼養頭数は、14.8頭となっています。

図2 主要費目の構成割合（子牛1頭当たり）

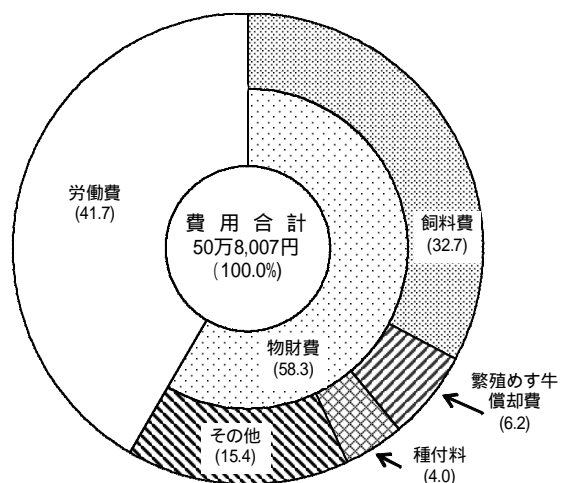


表2 子牛生産費

単位：円

区 分		子牛1頭当たり
生 産 費	物 材 費	296 367
	労 働 費	211 640
	費用合計	508 007
	生産費（副産物価額差引）	469 618
	支払利子・地代算入生産費	477 875
全算入生産費		548 971
1戸当たり月平均繁殖めす牛飼養頭数（頭）		14.8

## 3 去勢若齢肥育牛生産費

平成18年の去勢若齢肥育牛1頭当たり全算入生産費は、82万4,784円となっています。

また、生体100kg当たり全算入生産費は、11万5,024円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると、もと畜費が57.1%と最も多く、次いで飼料費、労働費、敷料費の順となっています。

なお、1戸当たり月平均飼養頭数は、66.4頭となっています。

図3 主要費目の構成割合（1頭当たり）

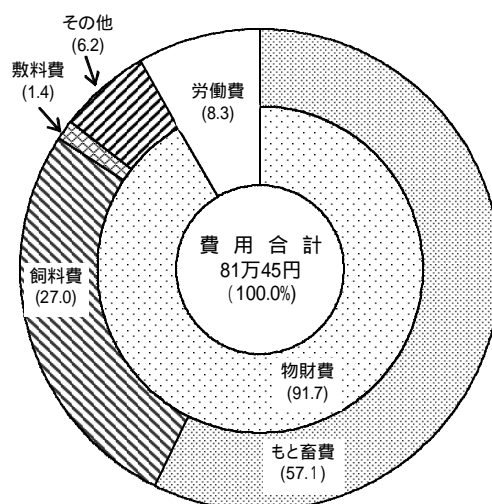


表3 去勢若齢肥育牛生産費

単位：円

区 分		1 頭当たり	生体100kg当たり
生 産 費	物 材 費	742 559	103 558
	労 働 費	67 486	9 411
	費 用 合 計	810 045	112 969
	生産費（副産物価額差引）	799 571	111 508
	支払利子・地代算入生産費	813 576	113 461
	全 算 入 生 産 費	824 784	115 024
1 戸 当 たり 月 平 均 飼 養 頭 数（ 頭 ）		66.4	-

4 乳用おす育成牛生産費

平成18年の乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費は、13万2,798円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると、飼料費が40.6%と最も多く、次いでもと畜費、労働費、獣医師料及び医薬品費の順となっています。

なお、1戸当たり月平均飼養頭数は、60.4頭となっています。

図4 主要費目の構成割合（1頭当たり）

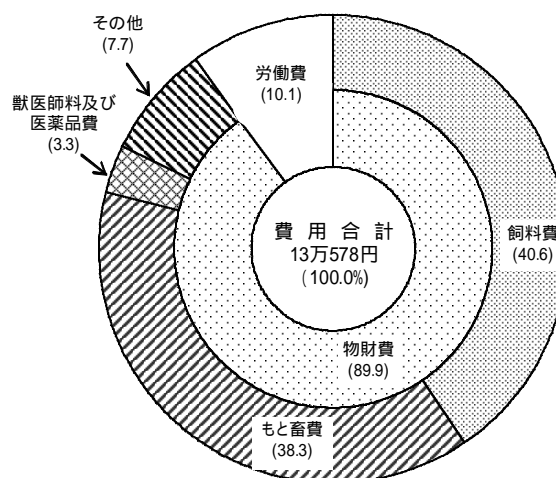


表4 乳用おす育成牛生産費

単位：円

区 分		1 頭当たり
生 産 費	物 材 費	117 415
	労 働 費	13 163
	費 用 合 計	130 578
	生産費（副産物価額差引）	129 559
	支払利子・地代算入生産費	131 584
	全 算 入 生 産 費	132 798
1 戸 当 たり 月 平 均 飼 養 頭 数（ 頭 ）		60.4

## 5 乳用おす肥育牛生産費

図5 主要費目の構成割合（1頭当たり）

平成18年の乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費は、34万524円となっています。

また、生体100kg当たり全算入生産費は、4万5,201円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると、飼料費が59.0%と最も多く、次いでもと畜費、労働費、敷料費の順となっています。

なお、1戸当たり月平均飼養頭数は、165.3頭となっています。

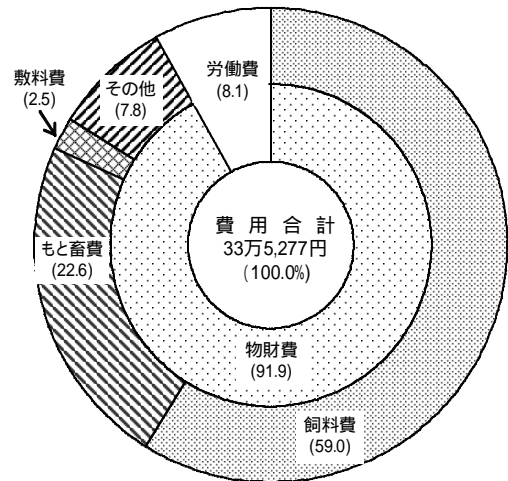


表5 乳用おす肥育牛生産費

単位：円

区 分		1頭当たり	生体100kg当たり
生 産 費	物 材 費	308 169	40 906
	労 働 費	27 108	3 599
	費用合計	335 277	44 505
	生産費（副産物価額差引）	330 353	43 851
	支払利子・地代算入生産費	337 118	44 749
全算入生産費		340 524	45 201
1戸当たり月平均飼養頭数（頭）		165.3	-

## 6 交雑種育成牛生産費

図6 主要費目の構成割合（1頭当たり）

平成18年の交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は、24万1,181円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると、もと畜費が67.6%と最も多く、次いで飼料費、労働費、獣医師料及び医薬品費の順となっています。

なお、1戸当たり月平均飼養頭数は、119.8頭となっています。

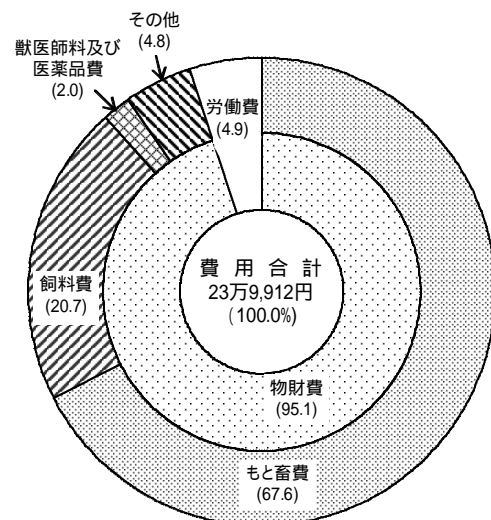


表6 交雑種育成牛生産費

単位：円

区 分			1頭当たり
生 産 費	物 材 費		228 056
	労 働 費		11 856
	費 用 合 計		239 912
	生産費（副産物価額差引）		238 056
	支払利子・地代算入生産費		239 512
	全 算 入 生 産 費		241 181
1戸当たり月平均飼養頭数（頭）			119.8

7 交雑種肥育牛生産費

図7 主要費目の構成割合（1頭当たり）

平成18年の交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は、57万9,222円となっています。

また、生体100kg当たり全算入生産費は、7万6,653円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると、もと畜費が43.6%と最も多く、次いで飼料費、労働費、建物費の順となっています。

なお、1戸当たり月平均飼養頭数は、134.3頭となっています。

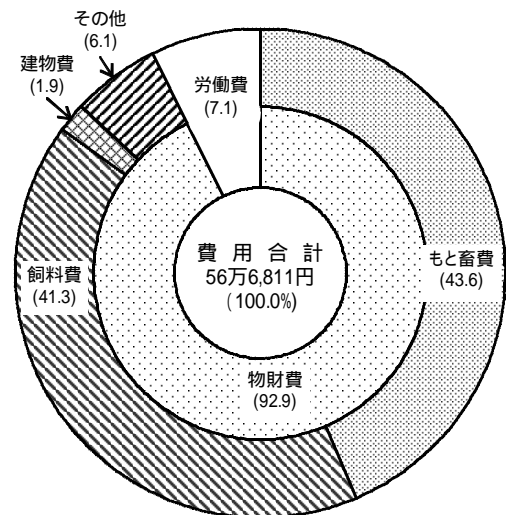


表7 交雑種肥育牛生産費

単位：円

区 分			1頭当たり	生体100kg当たり
生 産 費	物 材 費		526 580	69 686
	労 働 費		40 231	5 324
	費 用 合 計		566 811	75 010
	生産費（副産物価額差引）		561 681	74 331
	支払利子・地代算入生産費		571 430	75 622
	全 算 入 生 産 費		579 222	76 653
1戸当たり月平均飼養頭数（頭）			134.3	-

## 8 肥育豚生産費

平成18年の肥育豚1頭当たり全算入生産費は、2万8,794円となっています。

また、生体100kg当たり全算入生産費は、2万6,379円となっています。

費用合計に占める主要費目をみると、飼料費が60.7%と最も多く、次いで労働費、獣医師料及び医薬品費、光熱水料及び動力費の順となっています。

なお、1戸当たり月平均肉豚飼養頭数は、660.5頭となっています。

図8 主要費目の構成割合（1頭当たり）

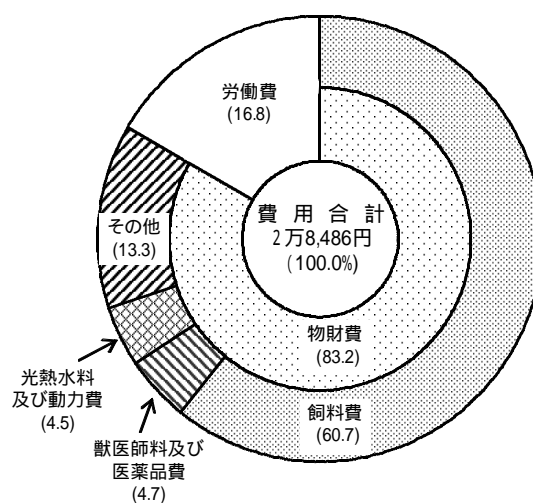


表8 肥育豚生産費

単位：円

区 分		1頭当たり	生体100kg当たり
生 産 費	物 材 費	23 712	21 723
	労 働 費	4 774	4 374
	費 用 合 計	28 486	26 097
	生産費（副産物価額差引）	27 702	25 379
	支払利子・地代算入生産費	28 083	25 728
	全 算 入 生 産 費	28 794	26 379
1戸当たり月平均肉豚飼養頭数（頭）		660.5	-

[ 統 計 表 ]

【目 次】

1	牛乳生産費	8
2	子牛生産費	10
3	去勢若齡肥育牛生産費	12
4	乳用おす育成牛生産費	14
5	乳用おす肥育牛生産費	16
6	交雜種育成牛生産費	18
7	交雜種肥育牛生産費	20
8	肥育豚生産費	22

## 【 調査の仕様 】

### 1 調査の目的

農業経営統計調査の畜産物生産費は、畜産物価格の安定をはじめとする畜産行政及び畜産経営の改善に必要な資料整備を行うことを目的としています。

### 2 調査の対象

本調査は全国を設計単位した標本調査の中から九州分を抜き出し集計したものです。したがって各畜種とも九州における飼養農家等の平均ではありませんので、参考事例として利用願います。

### 3 調査期間

調査期間については、全畜種とも平成17年4月～平成18年3月までの1年間です。

### 4 調査方法

農家による現金出納帳及び作業日誌への記帳（自計申告）と職員の面接による聞き取り調査を併用して取りまとめました。

### 5 集計戸数

牛乳生産費	54戸	子牛生産費	108戸
去勢若齢肥育牛生産費	107戸	乳用おす育成牛生産費	19戸
乳用おす肥育牛生産費	37戸	交雑種育成牛生産費	16戸
交雑種肥育牛生産費	24戸	肥育豚生産費	81戸

### 6 用語の解説

- (1) 搾乳牛通年換算1頭当たり生産費とは、1戸当たり生産費を年間月平均搾乳牛（乾乳中の牛を含む。）飼養頭数で除して算出したものです。
- (2) 生乳100kg当たり生産費とは、搾乳牛通年換算1頭当たり生産費を、乳脂肪分3.5%換算乳量及び実搾乳量で除して算出したものです。  
なお、乳脂肪分3.5%換算乳量の算出方法は、以下のとおりです。  
・乳脂肪分3.5%換算乳量 = 乳脂肪量（実搾乳量×乳脂肪分） / 0.035
- (3) 家族労働費は、「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の建設業、製造業、運輸業の5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価により評価しました。
- (4) 「収益性」の所得及び家族労働報酬の算出方法は、以下のとおりです。  
・所得 = 粗収益 - [生産費総額 - (家族労働費 + 自己資本利子 + 自作地地代)]  
・1日当たり所得 = 所得 ÷ 家族労働時間 × 8（1日換算）  
・家族労働報酬 = 粗収益 - (生産費総額 - 家族労働費)  
・1日当たり家族労働報酬 = 家族労働報酬 ÷ 家族労働時間 × 8（1日換算）
- (5) 粗収益及び所得については、価格安定基金等の奨励補助金を含んでいません。
- (6) 自作地地代とは、その地方の類地（調査対象作目の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものです。

(7) 自己資本利子とは、総資本額から借入資本額を差し引いた自己資本額に年利4%を乗じて算出したものです。

7 統計表の見方等

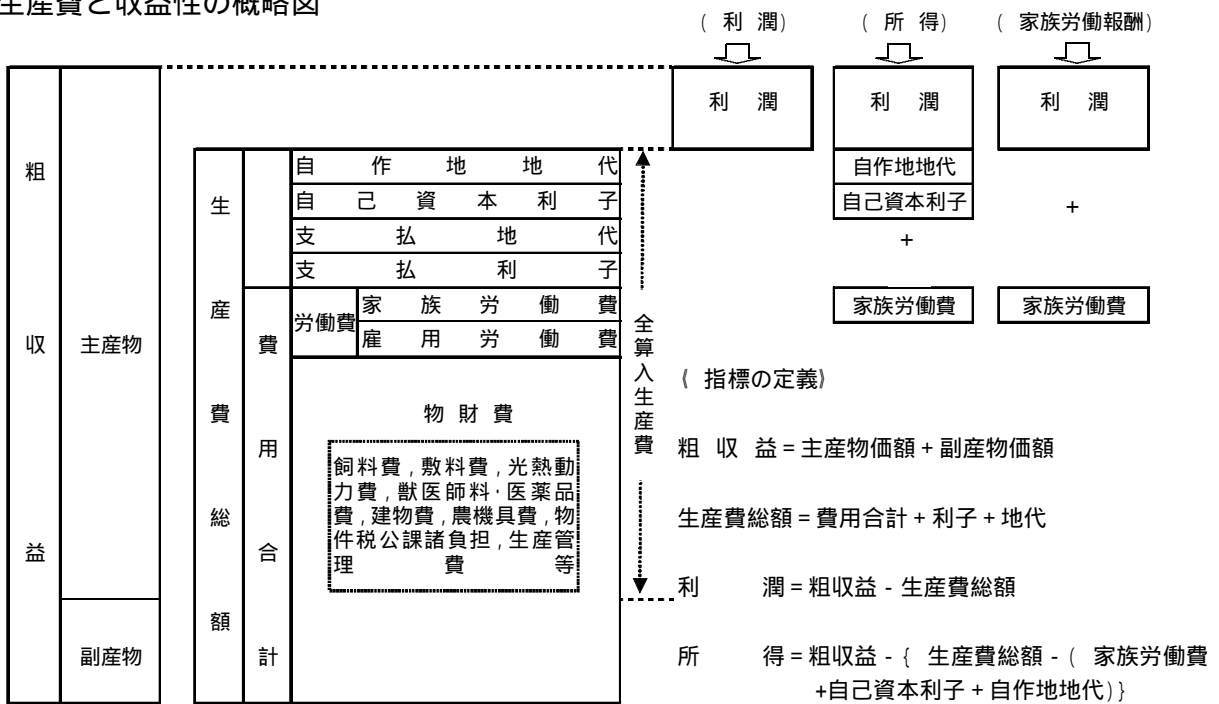
表中に用いた記号は以下のとおりです。

- 「 - 」 : 該当のないもの
- 「 」 : 負数又は減少したもの

8 本統計結果の確定値は、追って刊行する『農業経営統計調査報告 平成18年畜産物生産費』に掲載します。

9 本統計結果は、九州農政局ホームページ中の農林水産統計に掲載しています。  
【[http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht\\_all.htm](http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.htm)】

生産費と収益性の概略図



問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部  
 経営・構造統計課 経営統計第4係  
 電話：(代表) 096 (353) 3561 内線4740  
 (直通) 096 (353) 7541

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局：統計部  
 統計企画課 企画第2係  
 電話：(代表) 096 (353) 3561 内線4723  
 (直通) 096 (353) 7556